

学力検査問題

国語 第五回

(時間五〇分)

注意

- 1 解答用紙について
 - (1) 解答用紙は一枚で、問題用紙にはさんであります。
 - (2) 係の先生の指示に従って、所定の欄二か所に受検番号を書きなさい。
 - (3) 答えはすべて解答用紙のきめられたところに、はっきりと書きなさい。
 - (4) 解答用紙は切りはなしてはいけません。
 - 2 問題用紙について
 - (1) 表紙の所定の欄に受検番号を書きなさい。
 - (2) 問題は全部で五問あり、表紙を除いて十四ページです。
- 印刷のはっきりしないところは、手をあげて係の先生に聞きなさい。

受検番号	第	番
------	---	---

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(26点)

イタリアのローマで生まれ育った主人^{けいと}は、古い街並みに魅力を感じ、日常的にそれをスケッチしていた。東京に引越してからもスケッチを続けていた主人はある日、友人の歩^{あゆむ}に誘われて、[※]法隆寺の[※]宮大工である「師匠」の講演会に参加した。開演前には宮大工の技術的な話に興味を持てる気がしないと思ひ、気乗りしない主人だったが、「師匠」の話を聞いているうちに興味がわいた。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(佐藤まどか著『スネークダンス』による。)

(注) ※法隆寺Ⅱ奈良にある木造建築の寺。

※宮大工Ⅱ神社・仏閣の建築・補修に携わる大工。

※クリエイティビティⅡ創造性。

※棟梁Ⅱ大工を束ねる親方。

問3 「多大」と同じ組み立て(構成)になっている熟語(漢語)を、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(3点)

ア 昨年 イ 就職 ウ 集合 エ 硬軟

問4 中学生のAさんは、授業で「防災について私たちができること」のスピーチをするために、地域の防災センターの方にインタビューを行いました。次のインタビューの様子と、Aさんが書いた【メモ】を読んで、あとの問いに答えなさい。

インタビューの様子

Aさん「本日はお時間をいただきありがとうございます。さっそくですが、防災センターとはどのような施設ですか。」

Bさん「地震などの災害時にそなえて、町や人々の被害をできるだけ最小限に抑えられるように、防災に関する情報を提供したり、実際に災害体験をしてもらうイベントを行ったりしています。」

Aさん「なるほど。具体的にどういった災害体験ができるのでしょうか。」

Bさん「はい。地震の揺れを体験できるスペースや、台風などの強風を体験できるスペースを用意しています。VRゴーグルを使うことで、臨場感のある体験ができるようになります。」

Aさん「それはすごいですね。私も小学生のときに地震体験車に乗ったことがありますが、VRの技術も利用するようになってきているんですね。」

Bさん「防災の意識を市民の皆さんに高めていただくために、自分の身近なことであると実感してもらうことが大切だと思います。今、ここで、自分にも起こり得る出来事なんだと感じてもらうことで、こういう準備や対策が必要なのかを一人一人が考えるきっかけにしてほしいと考えています。」

Aさん「 としてはいけないということですね。」

Bさん「そのとおりです。」

Aさん「では次に、防災に関する情報の提供について、今後の課題を教えてください。」

Bさん「課題としては、高齢者が多い地域への情報提供の仕方です。インターネットを利用した情報提供は、多くの人に発信できるという利点がありますが、パソコンやスマートフォンをあまり利用しない高齢者が多いと感じています。」

Aさん「それは、私たちが身近な高齢者に働きかけることも大切になりそうですね。」

Bさん「そうですね。一人一人が考えて行動するということが、地域に広がってほしいと思います。」

Aさん「わかりました。学校でも伝えたいと思います。」

～インタビューが続く～

●防災センターという施設
➔防災に関する情報提供や、災害体験のイベントの実施

●どういった体験ができるのか
➔地震の揺れや、台風の強風
➔VRゴーグルで臨場感がある

●防災の意識を高める
●どういう準備や対策が必要なのかを考える

自分にも起こり得る出来事 ➔ 一人一人が考えるきっかけ

●課題①
外国人の増加 ➔ やさしい日本語を使った案内

●課題②
高齢者が多い地域への情報提供

↓
一人一人が考えて行動することが、広まってほしい

☆ 私たちにも無関係ではなく、考えて行動することの重要性を、スピーチのまとめとして入れるようにする。

(1) Aさんは、このインタビューにおいてどのような工夫をしていますか。最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(2点)

- ア 相手に自分の緊張が伝わって発言しづらくならないように、敬語を使用せずに話す。
イ 相手の意見や考えがよくわからなかったときは、同じ質問を繰り返して確認する。
ウ 相手に話しやすく感じてもらいたいため、間違った発言に対してもあえて修正しない。
エ 相手の回答を受けて、詳しく知りたいと思う内容については、質問を加えている。

(2) インタビューの様子 の空欄にあてはまる言葉として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(3点)

- ア 怪我の功名 イ 風前の灯火
ウ 対岸の火事 エ 他山の石

(3) 【メモ】の内容には、インタビューの様子 からは得ることのできない情報が入っています。AさんはBさんにどのような質問をして、その情報を得たと考えられますか。質問文を考えて書きなさい。(3点)

3 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(26点)

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(注) 池内^{いけうち}了^{りょう}著『科学の考え方・学び方』による。(一部省略がある。)
※混とん……物事の区別や成り行きのはっきりしないさま。
※荒唐無稽……でたらめで、しっかりした根拠がないこと。

問1 筆者は、科学の力を利用して世界中の人々が協力していく必要があると主張しています。その理由として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(5点)

- ア 世界中の人の意見を統一して地球環境を守るために、暴力ではなく科学という客観的なものを利用し、誰もが同じ目標に向けて努力できるようにしなくてはならないから。
- イ 現在の消費構造やエネルギー使用を続けていくことで、科学の力は今よりもさらに発達していくと考えられており、科学的思考が身についている現代人が団結するべきだから。
- ウ 科学の専門家に任せてしまうと、研究に熱中するあまりに暴走を招いてしまう可能性があり、それを未然に防ぐために一人一人の市民が判断して意見を持つことが必要だから。
- エ 地球上の資源やエネルギーを大切に使うために、国家の枠を超えて誰もが科学の専門家の話を理解できるような高度な教育を施さなくてはならないから。

問2 ①「食わず嫌い」といえるかもしれませんが、この場合の「食わず嫌い」の説明として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(4点)

- ア 超能力を看板にしている宗教に頼ったり、占いやお告げによって自分の行動を決定し、それらを重視するあまりに科学の内容を理解しようとしにくいこと。
- イ あまりにもでたらめなことは信じない程度にはだれでも科学がわかる素地があるのに、難しくわからないと感じて、科学と疎遠になること。
- ウ 専門家が自分たちの向かう問題のおもしろさにとりつかれ、熱中するあまりに地球の安全をおびやかす研究を繰り返し、科学への信頼を失ってしまったこと。
- エ 地球の資源やエネルギーの莫大な消費は、際限なくそれらを必要とする科学技術が発達しすぎたからだと考えること。

問3 ② 専門家と市民の相互作用とありますが、市民は科学に対してどうすることが必要で、専門家に対してはどのような役割が求められているかを次のようにまとめました。空欄にあてはまる内容を、四十字以上、五十字以内で書きなさい。(6点)

市民は、科学に対して、科学の	市民は、科学に対して、科学の
40	50

役割が求められている。

4 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(……の左側は口語訳です。)(12点)

いにしへ、野干やかんを神かみとしたる社のほとりにて、狐きつねを射たる者ありけり。この者、

とがありなしの事、陣じんの定め及びて、人々さまざまに申しける中に、帥そのだいら大納言おののぶきょう経信きょうしん卿きやう罪つみがあるかないか 裁判さいばん

申していはく、

「竜りゆうの魚勢ぎょせい、預諸よしよの網あみに懸かかる」とばかりうちいひてみられたりけり。

これ、竜の魚のすがたになりて、波にたはぶれてうかび出たりけるほどに、預諸といふ者の、

網をひけるにかかりてかなしきめをみて、大海にかへりて竜王にうたへければ、

引いたところそれにかかつてつらい目にあつて

訴えたところ

竜王ことわりていはく、

説明して

「なにしにか魚のすがたとはなりける、さればこそ網にはかかれ。今より後、さる事③をすまじきなり」といひけることなり。

いみじき神なりとても、狐のすがたにてはしり出たらんを射たらんは、

④ なにのとがあらんといふ心なり。

(『続古事談』による。)

(注) ※野干やかん……狐、もしくは狐に似た伝説上の獣。

※勢……姿、かたち、ありさま。

問1 申しける とありますが、これは誰が言ったのですか。最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(3点)

ア 狐を射たる者 イ 預諸 ウ 帥大納言経信卿 エ 人々

問2 うちいひてゐられ とありますが、この部分を「現代仮名遣い」に直し、ひらがなで書きなさい。(3点)

問3 さる事 とありますが、何がどうなることですか。具体的な内容を十五字以内で書きなさい。(3点)

問4 なにのとかあらん とありますが、狐を射た者に罪があるかないかについて、経信卿はどのように考えていますか。その説明として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。(3点)

ア 竜王がこの者を許したのだから、この者には何の罪もない。

イ 狐の姿に化した神が悪いのだから、この者には何の罪もない。

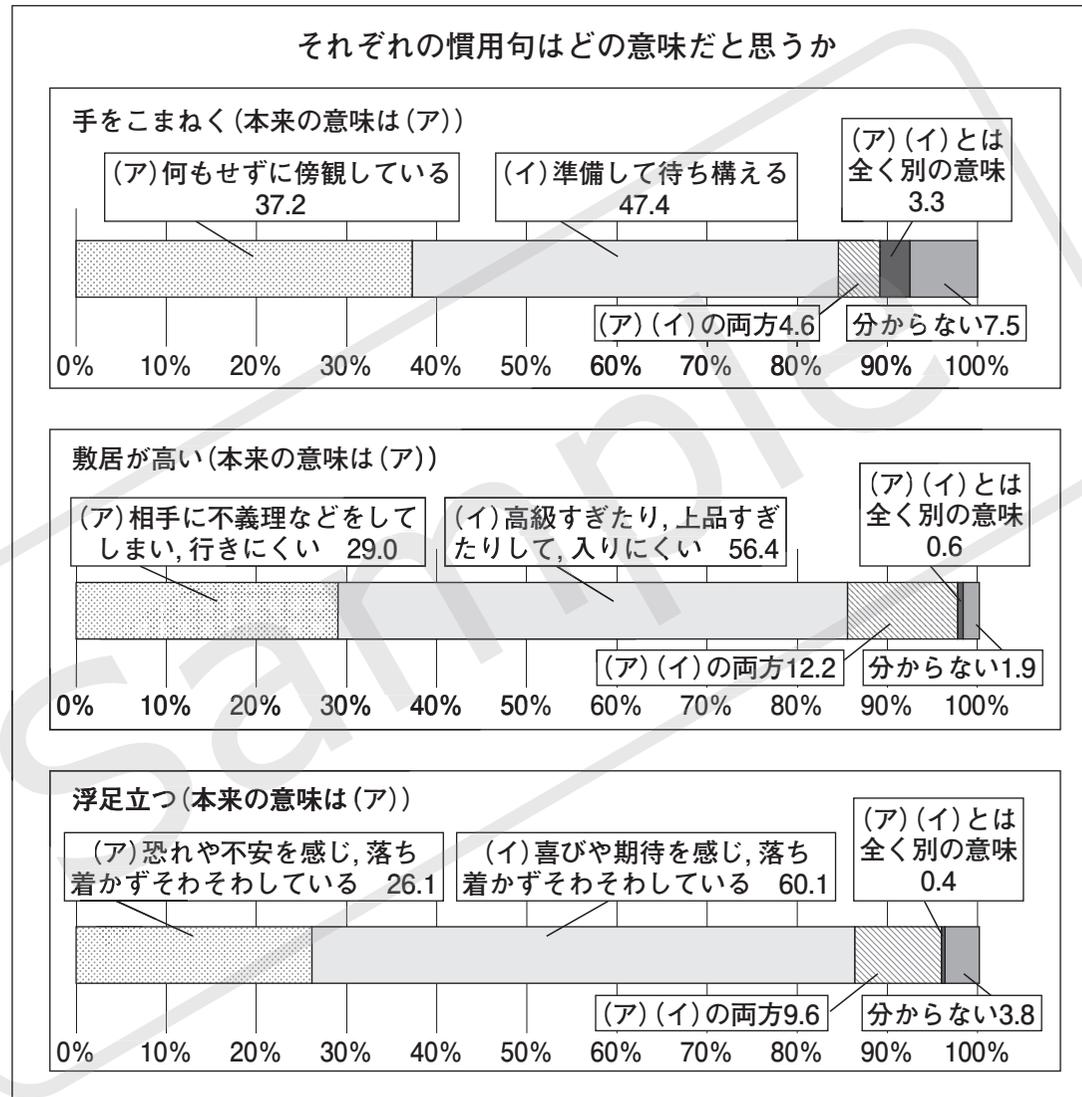
ウ 狐をまつる神社の近くで狐を射たので、この者は重罪である。

エ どんな理由があっても殺生は良くないので、この者は重罪である。

5

次の資料は、三つの慣用句について、どの意味だと思うかを日本の16歳以上の男女を対象に調査し、その結果をまとめたものです。

国語の授業で、この資料から読み取ったことをもとに「言葉を使うときに気をつけること」について、一人一人が自分の考えを文章にまとめることにしました。あとの(注意)に従って、あなたの考えを書きなさい。(12点)



文化庁「国語に関する世論調査(令和元年度)」より作成

(注意)

(1) 二段落構成とし、第一段落では、あなたが資料から読み取った内容を、第二段落では、第一段落の内容に関連させて、自分の体験(見たこと聞いたことなども含む)をふまえてあなたの考えを書くこと。

(2) 文章は、十一行以上、十三行以内で書くこと。

(3) 原稿用紙の正しい使い方に従って、文字、仮名遣いも正確に書くこと。

(4) 題名・氏名は書かないで、一行目から本文を書くこと。

(以上で問題は終わりです。)